



# 自分を越えた眼を Look Beyond Yourself

Raja

ラジェンドラ・K. サブー  
1991-1992年度 R1 会長

1991. 7. 12 (金) 第182回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 卓 話
9. 点 鐘

第181回例会記録  
(平成3. 7. 5)

**会長の時間** 濱 田 松太郎  
皆さん今日は、本日は第181回例会で1991～1992年度の第1回目の例会です。本年度の会長を仰付けられました、もとより浅学非才で、その任ではございません。どうぞ皆様方の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。さて、大変残念なお知らせですが、今村博典君が6月30日付で退会されました。その理由は、仕事の量が増えて到底例会には出席できないというようなことでした。各方面に活躍中の同君の優秀な頭脳を失うことは、わが佐土原RCにとってダメージが大きいのですが、しかし去る者は追わず、されどロータリーの灯は消えず。またの再入会を期待するものです。  
ところで、ロータリークラブではこの7月1日から地区の番号が0が一つ増えて2730地

区に変更になります。次にロータリー財団が発足して75周年の節目を迎えるので、特別無条件寄付の外に会員1人当たり80ドル寄付の要請が来ています。本年度特別会計予算に計上しておきましたので、次回の理事会にお諮りし、皆様のご賛同を得たいと考えます。

本年度の会長の基本方針について申し述べます。1991～1992年度 R1 ラジェンドラ・K. サブー会長の「自分を越えた眼を」を踏まえ、要するに“自分のことはかり考えないで、他人の立場を理解できる眼を持ちましょう。ただ理解だけでは駄目で、苦しんでいる人、困っている人に愛の手を差しのべましょう。”ということを周到な計画と大いなる夢を現実なものとして捉え、奉仕の理想を高めることに努力したいと思います。具体的に言いますと、

- ① 会員が一人となり会員の増強に取り組む。
- ② 例会出席が楽しくなるような雰囲気づくりに努力し、会員相互の理解と親睦を深めることにより奉仕の理想を高める。
- ③ 魅力と活力のあるクラブづくりに努力する。
- ④ 地球的規模における環境の保全にロータリアンとして何が可能かを探りながら、特に野生動物の保護に意を払う。
- ⑤ 地域社会にロータリーの善意の火を広げることに努力する。

以上をもちまして会長の基本方針といたします。皆様方のご理解と一層のご協力を重ねて切にお願い申し上げます。

終りになりまして大変失礼とは存じますが、前佐野会長をはじめ役員・理事の方々には、わが佐土原 RC のため「思いを尽くし、熱意を尽くし、ロータリーを高めて」これらのご功績は永くクラブ史の 1 ページを飾るにふさわしいものと確信いたします。大変ご苦勞様でございました。その感謝の意味も込めまして、今月 26 日の夜間例会後「前会長並びに理事・役員慰勞懇親会」を開催する計画であります。

本当にこの 1 年間私達をお導きいただき有難うございました。厚く御礼申し上げます。

**幹事報告** 鈴木正敏

本年度も引き続き幹事をさせていただきます。どうぞよろしく願い申し上げます。

**1. 例会変更通知**

宮崎西 RC 7 月 19 日 (金) 18 時より  
ホテル・メリディアンにて

**2. 小林 RC から創立 30 周年記念式典参加** (佐野前会長) への礼状が来ております。

**3. ガバナー月信 No 1 とロータリーの友 No 7 を配布** しました。

**出席報告** 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数 16 名

H C 出席者数 14 名

欠 席 者 数 2 名

出 席 率 87.5%

欠 席 者 猿渡・井下

**ビ ジ タ ー**

宮崎中央 RC 小牟田 利幸君

西都 RC 奥 口 佐喜男君

**会員増強小委員会より** 委員長 正岡 文 都

先刻の第 1 回理事会で、次のとおり入会者を 2 名決定いたしました。

・池田英治君 37 歳

佐土原葬祭センター代表取締役

・岩切高昭君 西都・佐土原シルバー人材センター事務局長

会員に落ったところ異議はなかったため、池田君については今後 10 日以内に会員からの異議申し立てがない限り入会は自然許可され

るものと解釈されます。

岩切君は 8 月から入会することです。

**国際奉仕委員会より** 委員長 池田 仁 志

RI より、ロータリーの友英語版の購読の案内が来ています。佐土原高校へ 1 冊贈呈し、翻訳を依頼してみてはとの意見もありますので、1 冊だけを直接佐土原高校宛発送してもらうように交渉してみたいと思います。

**親睦小委員会より** 委員長 斉藤 数馬

7 月セレモニーは、田村勝二君の誕生日祝い 1 名です。新会長から記念品を贈呈し祝福いたします。

なお、同君から多額のハッピーをいただきましたので、厚くお礼を申し上げます。

**プログラム小委員会より** 委員長 山 脇 忍

本年度のハッピーボックスの目標を 30 万円にしていたきたい。例会に欠席した場合は 500 円ぐらいはりこんでいただきたい。次回の卓話は今村君が退会されたので、児玉君にピンチヒッターをお願いします。

プログラムの内容を再検討して手直しをしたと考えています。

**テーブルスピーチ** 会長 濱田 松太郎

「心を平にし、気を和にす。これ身を養い徳を養うの工夫」

これは江戸時代の儒学者貝原益軒の有名な養生訓で、健康長寿を保つためわかり易く説明したもので、現在でも広く読まれている。

心を安定させおだやかな状態にして、気分をやわらげる、これが即ち体の健康が保たれ、徳を培う秘訣である。健康を害し、病気になるのは、こうした自己コントロールのまずさからであるといえよう。生活の仕方に節制がなく、感情のおもむくままに任せる意志の弱さが、心の働きのバランスをくずし、健康を害せるものである。やはり一言一句が健康でなければいけない。ロータリー例会出席等にも基本的に係りがあると、つくづく考える次第である。